

30) PORT=EULER LEHRBUCH DER ZAHNHEILKUNDE

Port=Euler Textbook of Dentistry

大垣女子短期大学 下総高次

Takaji Shimoosa, *Ogaki Women's College*

東京高等歯科医学校は、本邦最初の官立歯科医学校として、昭和3年10月12日に創立された。10月13日島峰 徹が学校長に任ぜられ、昭和4年4月20日第1回入学式が行われた。

島峰が歯科医学校創立に当って実行したことは、自らが滞独7年間に亘って学び且つ見聞した研究方法や学生教育を、日本の歯科学に取り入れることであった。まず基礎医学教育に重点をおき、臨床歯科医学教育の充実を期した。教授陣容をみると、それが伺える。

系統解剖学	組織学	(東大医) 藤田恒太郎
生理学	物理学	(東大医) 坂本嶋嶺
生化学	化学	(東大薬) 寺田正一
病理学	病理組織学	(東大医) 宮崎吉夫
微生物学	一般衛生学	(東大医) 長谷川秀治
薬理学	歯科薬理学	(東大医) 岡田正弘
歯科補綴学		(東大医) 長尾 優
歯科補綴学	歯牙解剖学	(東大医) 川上政雄
保存療法学	保存充填学	(東大医) 桧垣麟三
口腔外科学	歯牙組織学	(東大医) 金森虎男
口腔外科学	外科的補綴学	(新瀉医専) 中村平蔵

歯科理工学	(東大医) 巖 真教
歯科矯正学	(日歯専) 高橋新次郎

次に特徴的なことは、ドイツ語科目を多くとり入れた点である。昭和3年12月29日許可 東京高等歯科医学校学則第2章 歯科課程によると、第1学年：前・後期毎週8時間、第2学年：前・後期毎週6時間、第3学年：前・後期毎週4時間、第4学年：前・後期毎週2時間のドイツ語教育が設けられた。因みに英語は、各学年：前・後期を通じて、毎週2時間であった。各専門学科の講義では、術語は凡てドイツ語からラテン語が用いられた。

更に島峰は、政府を通じて、ドイツから一流の教師を招聘した。次の通りである。

1) W. Dieck
(ベルリン大学教授・同歯学部長)

2) W. Meyer (ブレスラウ大学助教授)

3) K. Greve (ブレスラウ大学助教授)

4) H. Gross (フランクフルト大学助教授)

5) G. Stinhart (ケルン大学講師)

6) J. Eschler (ブレスラウ大学講師)

ドイツ人教師の招聘は、昭和5年から始まり、——昭和19年3月20日東京高等歯科医学校を東京医学専門学校と改称——昭和21年3月31日同校の新規生徒募集中止(大学昇格に伴う)まで継続した。この間、ドイツ人教師は凡てドイツ語で講義を行った。

教科書及び参考書

医学教科書は、東京帝国大学教授の著書が多く用いられた。臨床歯科学の方は、当時まだ指定の教科書が少なく、したがって講義は専ら、黒板に図解しながら口述する方法によった。そのような事情の時に、歯科学教科書として刊行されたPort=Euler Lehrbuch der Zahnheilkunde. 第4版、1929(昭4)が、参考書として採用された。内容は、ブレスラウ大学教授・歯学部長のH. Eulerが主となって執筆し、W. Meyer(ブレスラウ大学講師)、K. Greve(ブレスラウ大学教授)、H. H. Rebel(ゲッチン大学教授・兼歯学部長)らが分担して協同執筆をし、H. Eulerが編集したものである。本の体裁：タテ25cm×ヨコ16cm、厚さ4cm、重さ1.76kg、本文716頁、写真及び付図767からなる。

内容目次

第1章 解剖学：口腔解剖学、歯牙解剖学、歯牙組織学、歯牙発生学。1~119頁…Meyer
第2章 口腔の生理学：咬合機能、飲・食物摂取、嚥下、発声、口腔の感覚。122~146頁…Meyer
第3章 I. 口腔病理学と歯牙及び口腔疾患の治療法：A. 患者の観察—歯科レントゲン(Meyer改訂) B. 歯牙萌出異常 C. 歯牙の異常 D. 発生期における歯牙の障害 E. 歯牙萌出期の疾患<外傷、カリエス、歯髓疾患> F. 歯周

疾患の病理 G. 歯牙・歯周組織の疾患と外科的処置〈抜歯，根端切除術，歯牙再植，歯肉切除，歯科麻酔・注射法 (meyer 改訂)〉 H. 歯牙を除く口腔領域疾患とその処置〈口腔軟組織の疾患，顎骨の疾患，口腔領域の腫瘍，境界領域 (歯牙と鼻，耳，眠)，歯牙と全身疾患〉. 147～447 頁…Euler

II. 歯科保存療法学：A. カリエスとカリエス除去 B. 充填学 C. 罹患歯髓の処置 D. 歯根膜疾患の臨床と治療 E. 歯牙及び口腔清掃 F. 歯槽膿漏の保存療法. 449～503 頁…Rebel

III. 歯科補綴学：A. 歯冠補綴〈帶環金属冠，継続歯冠〉 B. 欠損歯補綴〈橋義歯，維持装置付義歯，床義歯〈全部床，部分床〉 C. 顎補綴 D. 顎骨折の処置，動搖歯の補綴・矯正の処置. 505～651 頁…Greve

IV. 矯正学：A. 位置異常，咬合異常， B. 位置・咬合異常の原因 C. 歯科矯正の一般的基

礎〈診断，計画，処置〉 D. 重篤な咬合異常の特殊治療〈Angle 1. 2. 3 の治療〉，咬合異常の外科的処置〈抜歯，顎切除〉，矯正治療のための筋訓練的処置. 654～715 頁…Greve

島峰は，かつてブレスラウ大学に留学し，以来，同大学の Euler 教授と親交が厚かった。「第 2 白亜質に関する研究」や「スピロヘータの純培養」に成功した島峰の業績に対して，ドイツ国のブレスラウ大学より Dr Medicinæ Dentariæ Honoris Causa (名誉歯学博士) を授与〈昭和 5 年 (1930) 1 月 14 日付〉されたのは，ブレスラウ大学歯学部長 Euler 教授の推挙によって実現した。

Meyer と Greve の両氏は，東京高等歯科医学校の招聘外人教師として来日し，歯科教育に貢献した。歯科学書 Port=Euler は，以上の如き絆で結ばれており，当時，参考書としての役割を十分に果たすと共に，ドイツ語研修面の上でも自ずから役立った。